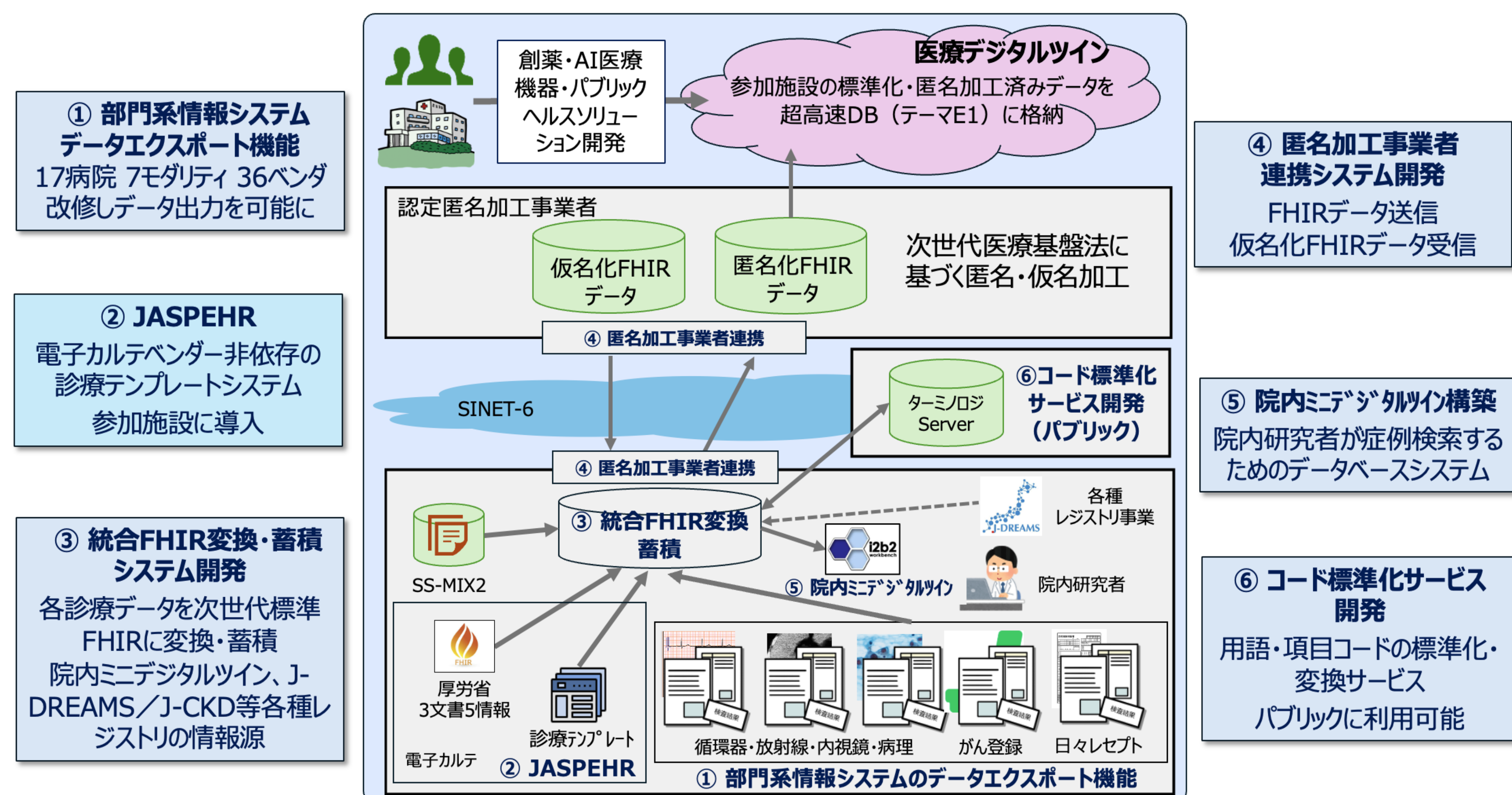


## 演題名：多施設デジタルツイン構築を目指した医療データ基盤の構築

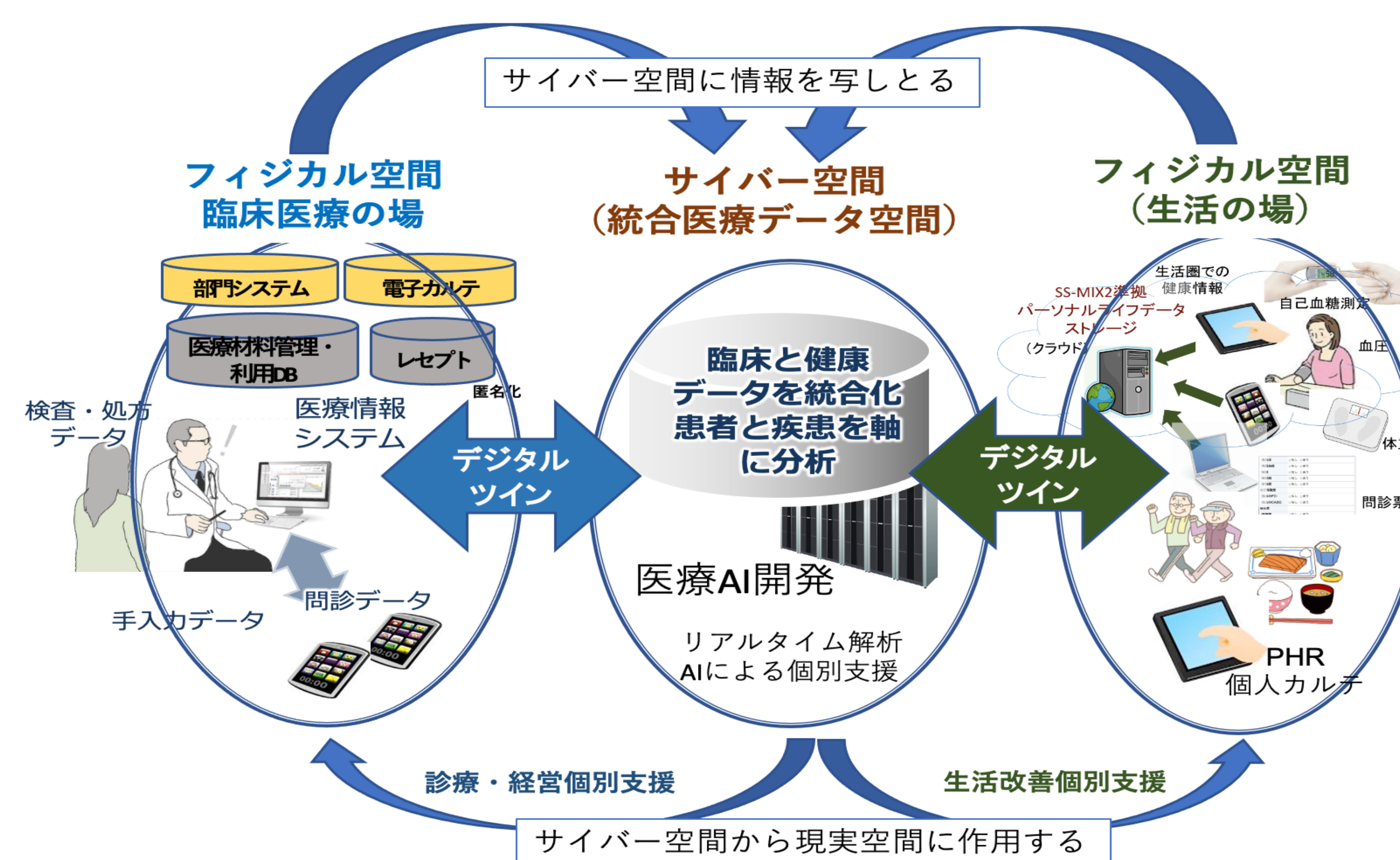
演者名：河添悦昌\*1、篠原恵美子\*2、美代賢吾\*2、大江和彦\*2,3

\*1 医学系研究科社会医学専攻医療情報学分野、\*2 本寄附講座、\*3 順天堂大学大学院

### 次世代医療情報標準FHIRを活用した医療データ基盤



### 目指す多施設デジタルツインのイメージ



### 背景と目標

- 医療データ活用の現状**

  - 医療情報システムは診療現場のニーズに応じ、ポトムアップに開発・発展
  - 結果として、電子カルテシステムや種々の業務部門システムに臨床データが散在  
対象17病院：電子カルテ3種類、部門システム36種類
  - さらに、データ形式や意味的内容、取り出し方法が統一されずベンダー依存でバラバラ

**大規模な二次活用が困難**

  - 多施設からの多種の臨床データを統合した医療デジタルツインを構築できない
  - 生成AIによる臨床データ活用が容易でない
  - 国民皆保険制度で収集される大規模な医療データを社会に還元できていない

### 目標

**標準化した医療データを統合し・活用し・提供できる共通インフラを開発し、参加医療機関に整備**

### 各施設の中核システムの開発の概要

